

平成 20 年 10 月 15 日

各 位

東京都中央区日本橋 1 丁目 4 番 1 号
日本橋一丁目ビルディング（コレド日本橋）
株式会社シンプレクス・テクノロジー
代表取締役社長 金子 英樹
(コード番号：4340 東証1部)
問い合わせ先 アドミニストレーショングループ
執行役員 澤田 正憲
TEL 03-3278-6750 (代表)

第 2 四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ（業績上方修正）

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 13 日の決算発表時に公表した中間期の業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成 21 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)
連結業績予想数値の修正 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 20 年 5 月 13 日発表)	4,270	805	800	470
今回修正予想(B)	5,401	950	910	530
増減額(B-A)	1,131	145	110	60
増減率	26.5%	18.0%	13.8%	12.8%
(ご参考)：前期 (平成 20 年 3 月期連結中間) 実績	3,437	789	795	465

2. 平成 21 年 3 月期 第 2 四半期累計期間(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)
個別業績予想数値の修正 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 20 年 5 月 13 日発表)	4,270	805	800	470
今回修正予想(B)	5,401	960	960	570
増減額(B-A)	1,131	155	160	100
増減率	26.5%	19.2%	20.0%	21.3%
(ご参考)：前期 (平成 20 年 3 月期中間) 実績	3,437	790	804	473

3. 修正理由

連結売上高：シンプレクス・テクノロジー本体の売上が好調に推移したことから、前回予想を上回り 5,401 百万円（前回予想比+26.5%、前年同期比+57.1%）となる見込みです。

連結営業利益：前回予想を上回り 950 百万円（前回予想比+18.0%、前年同期比+20.4%）となる見込みです。

連結経常利益：前回予想を上回り 910 百万円（前回予想比+13.8%、前年同期比+14.5%）となる見込みです。

連結当期純利益：前回予想を上回り 530 百万円（前回予想比+12.8%、前年同期比+14.0%）となる見込みです。

当第 2 四半期累計期間は、FX 取引システムを中心としたインターネット取引システムの販売が好調で、業績が予想を上回って推移いたしました。特に UMS（導入）売上は、1,139 百万円（前年同四半期 143 百万円）と大幅に売上が増加いたしました。さらに、UMS（サービス）売上においても、個人投資家向けトレーディングツール「SPRINT」を中心に、堅調に売上が推移しております。

一方利益面においては、研究開発費の支出を予算比 2.2 億円増額し約 4.9 億円支出したことから、売上の伸びと比べて利益の伸びが小さくなっています。

これらの要因から、第 2 四半期連結累計期間は、業績予想を大きく上回る見込みとなりました。なお、個別業績の修正理由は連結と同じです。

4. 通期(平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

業績は非常に好調に推移しておりますが、通期業績予想につきましては、当社の売上が下期に偏重する傾向があり業績動向が不確定であるため、現時点では当初予想を据え置きます。

今後の動向に応じて、業績予想に変更が生じた場合は速やかに開示することいたします。

(ご参考)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期の連結業績予想 (平成 20 年 5 月 13 日発表)	10,500	2,510	2,500	1,475
(参考) 前期の連結業績実績	8,128	2,081	2,074	1,234

以上